

日光スノーシューハイク山行報告

【山行日】2022年 2月 12日(土) 晴れ

【集 合】栃木市運動公園P AM 7:30

【費 用】マイカー1台 : 1800円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、
廣瀬、福島、藤原ト、渡辺

【コースタイム】栃木市運動公園P7:30 = 赤沼
P9:00/9:35~小田代ヶ原 P10:30/10:40~弓張峠
10:40~庵滝 11:45/12:10~弓張峠 12:40~
小田代ヶ原 P12:55/13:25~赤沼 P14:50/15:10=
栃木市運動公園P16:35



毎年恒例の日光スノーシューハイク、初心者向きの戦場ヶ原周回コースを予定したが、徳ちゃんから「庵滝に行きたい」とリクエストがあり庵滝まで足を延ばすことにした。天気予報を見て土曜日は



良い天気なので、日曜日から日程を変更し皆さんの了承を得る。栃木市運動公園を7時30分に出発し、赤沼駐車場に着くと車がいっぱい止まっていた。大駐車場は閉鎖され駐車場に沿った道路に数珠つなぎで駐車しており、我々も奥まで行ってUターンしギリギリ路駐できた。靴を履き替え準備を整えたら、スノーシューとアイゼンを持ってトイレ脇の東屋に移動する。東屋は庵滝を目指す大勢の登山者が、出発の準備をしていた。我々もスパッツを付けスノーシューを履いて出発する。今年は雪の

量が多く、スノーシューのトレーニングには絶好のコンディションである。スノーシューでの歩き方を教えながら歩き、初めての2人に雪の感触を味わってもらう。湯川の橋は階段があるので慎重に渡り、森林の中に付けられたトレースを快調に歩いて行く。初めての2人も「こんな体験が出来るなんて夢みたい！」と楽しそう。小田代ヶ原入口のネットをくぐり、左に折れると林道に出る。林道も十分な雪があり、スノーシューで快調に歩ける。小田代ヶ原駐車場の東屋で休憩し、デコポンや菓子を食べてエネルギーを補給する。ここでスノーシューからアイゼンに付け替えて出発する。



弓張り峠から下ったカーブの所が庵滝の

入口で、マウンテンバイクが数台デポしてある。同じマウンテンバイクなので、レンタルバイクでここ

まで乗って来たようである。

庵滝への道も雪が豊富だが、大勢が歩いてトレースがバッチリ付いていて、アイゼンが良く効いて歩き易い。積雪量が豊富なルートに登って行くので、いつもより雪山に登っている感触がありとても



楽しい。登るにつれ傾斜が急になり、一旦谷に下ってから谷沿いに登ると庵滝が見えた。

庵滝に着くと大勢の登山者が休憩しており、我々も空いている場所にザックを置いて庵滝に向かう。沢を渡ってから庵滝の下まで登り、ブルーに輝く氷柱の前で記念写真を撮る。

さらに氷柱の下に入って写真を撮り、ブルーに輝く氷の芸術を内側から堪能する。皆さん大感動でスマホのカメラに氷柱を収め、いつまでも神秘的な氷柱に見入っていた。ザックを置い

た場所まで戻り、滝を見ながらどら焼きをいただきエネルギーを補給する。いつまでも見ていたい気持ちを断ち切って下山開始する。下山は来た道を戻り、小田代ヶ原駐車場の東屋でランチタイムとする。先客が3人居たが場所を譲ってもらい、お湯を沸かしてスープやカップ麺を作る。しもつか

れや出汁巻き卵、春菊のお浸し等もあり、豪華なランチを美味しくいただいた。お腹が満たされたら赤沼に向かうが、SLと徳ちゃんは往路を戻り、4名はスノーシューに履き替えて小田代ヶ原を一周して赤沼に向かった。小田代ヶ原も雪が豊富で、スノーシュートレーニングに丁度よい状態である。男体山や太郎山の景色も楽しめ、軽快に周遊コースを歩くことが出来た。湯川を渡ったすぐ先で、戦場ヶ原への橋を渡りすぐ先の展望所まで行く。ここは男体山や大真名子・小真名子山、太郎山が真近に見られ



るビューポイントである。絶景を楽しんだら戻って橋を渡り、赤沼駐車場まで急いで戻る。東屋に着くが2人の姿は見当たらない。皆さんは東屋で待つように言って、我輩が車まで戻ると2人が車にいた。車を東屋の隣にあるトイレの前に移動し、皆さんが荷物を積んだら帰路につく。

絶好の登山日和恵まれ、最高の雪景色と庵滝の氷柱やツララを見ることが出来、大満足の山行となった。